

亡くなっている人の訴えを知る基礎知識 — 医療費・介護費用の削減が可能に —

紫雲山地藏寺 住職 橋本 泰雄

医療費と介護費用の増加を抑えなければ

国が支払った昨年の国民医療費と介護費用は40兆円台ですが、厚生労働省はこれから僅か11年後の2025年に、国民医療費と介護費用が膨大な金額になると推計しています。それを何とか70兆円に抑えたいとして、保険料や患者の費用負担の増加、診療報酬や制度の改定を行っています。

然し、他の機関の推計では2025年には国民医療費と介護費用は83兆円とか、それ以上必要とのことで、関係機関は医療費の削減や制度の改正等の努力を行っています。これらにつきまして個人が採用出来る根本的な対策があります。それは亡くなっている人の靈魂の訴えが病気や症状、怪我として出て来るということを世の人々が知り、供養を丁寧にすることです。そうなれば、相当なまでに病気にならないで済み、医療費を、更に介護費用を大きく削減出来ます。医療費を激減させるために供養の大切さを、ここにご説明させていただきます。

自由意志の使い方か、供養不足か

年齢が加わるに従つて身体機能の衰えが出て来るのは自然なことで、ある程度の年齢になつたら身体機能の衰えを防ぐように心がけて生活をすることが大切なのは言うまでもありません。長寿社会になつている今日においても、心身の健全性を保つということが真に大事であります。

さて、身体に困つた症状が出た場合は、先ずご本人が自由意志の使い方を何か誤つていたのではないかと考え、思い当たる事の改善を図る必要があります。然し、反省してもその症状で表される因縁について思い当たることが無いならば、亡くなっている人がその事で何かを訴えて来ていると考えると、それが合つている場合が多々あります。

ここで述べるのは、常識で簡単に理由が分かることや加齢による身体機能の衰えではなく、なる筈もない怪我や病気の症状が出た場合に考えていただきたいことです。

応急処置を受けて、そして因縁の解消を

怪我をしたり、危険の予兆かと思われる症状が出た時は、病院に行つて応急処置をして貰うのが第一なのは言うまでもありません。小康を保つようになつてからその因縁（大本の原因）を考えて改善を図るならば、医療と相俟つて早く治るということが起きます。または軽い症状であるならば、因縁の解消をするだけで治ります。

病気や困つた症状、怪我などは、人間の身体のどの部位に不具合が起きるか、またそれがどのような症状かによつて、それぞれ因縁（大本の原因）が決まつています。身体に出て来る症状で、亡くなっている人の訴えによるものも数多くの種類があります。ここに記すのはこの世の中の仕組みのほんの入り口の知識ですが、どなたにとつても人生で色々な時に必要な基礎的な知識でありますから、ご参考になさつて下さい。

これらを基本に先ず考える

亡くなっている人の訴えから出ることが多い症状・病気・怪我の起きて来る個々の因縁（大本の原因）のご説明の前に、人間の身体は何處に症状が出るかによつて次のように考

傾向があることを知つて下さい。

一、亡くなっている人の訴えで、子孫や有縁の人の身体の左側に出る症状は男性、身体の右側に出る症状は女性の訴えが多いです。然し、嫁いでいる女性の左足全体の症状で嫁家の家系の供養不足の問題が出たり、右足の症状で実家の家系の供養不足の問題が出るということもあります。

二、独身の人も既婚の人も、上の代の人が家系の繋げ方を間違えている場合、身体の色々な部分に不具合が起きるといことがあります。なかなか症状が治らないとか、困つた問題に度々遭遇する、家系のどの代かで複数の子が死ぬとか、成人しても短命ということが起きていたりする場合は、上の代に家系の繋げ方の問題があるかを考えると良いです。

家系の繋げ方が間違つていると分かつた場合（長男が家の跡を継いでいない、その他）は、それを行つた人の罪障消滅等を暫く祈つて行くことにより、子孫の人達がご先祖の加護をきちんといただくことが出来るようになります。

三、男性はご自分の家系、実母の実家、結婚している女性は娘家、姑さんの実家、ご自分の実家からの訴えが多いです。その他の縁のある方々の訴えも身体の症状等で出ます。

なお、この世の中の仕組みは奥が深く、自由意志の使い方の問題と家系の因縁の両方が関係する症状とか、複数の因縁の影響が絡んでいるものも多々あることを留意して下さい。

供養が関係する症状・怪我

では、常識的に理解出来ない、なぜこの症状や怪我が出てくるのかと不思議に思われることが多い、亡くなっている人の訴え（頼み）や供養不足から来る症状を左に記します。

★頭が痛い 墓参りや供養を怠る人やその子供が病みます。結婚している女性で、実家の墓参を全然しない人も病みます。

★頭の怪我 頭に怪我をした人は、目上、ことに親不孝、供養不足、墓参不足の人であります。子供の場合は親に責任があります。よくお詫びをして改善を図ると治りやすいです。

★脳出血、脳梗塞 脳出血の大本の因縁は頑固さとご先祖、亡くなっている方々の供養不足です。これらが高血圧や血管のもろさ等の悪影響を身体にもたらします。

脳梗塞も先祖供養をなおざりにしている人、仏壇での供養やお墓参りをしていない人、心の柔軟性の欠如が大本の因縁となつていていますので、改善に努めると良いです。

★自律神経失調症 自律神経を病む多くの人が、その家系や縁ある家系のご先祖、亡くなっている人達の供養がされていないことが因縁となつていています。または供養はしていても、生前に良くない因縁をつくつて亡くなっている人の罪障消滅をしていない等、正しい形での十分な供養がされていないことが原因となつていていることもあります。子供に出来る場合はご両親がしていいことです。

★うつ病 うつ病についても縁ある方々の供養不足が因縁となつていることが多いです。人は親先祖、亡くなっている方々（含、水子）がいて存在していますから、それの方々は生きている人の基盤（土台）と同じです。土台がしつかりしていないければ、生きている人がその上に真っ直ぐ立てません。供養をきちんとしてすることによつて土台がしつかりします。治

